

鉄道とまちづくり連携プロジェクト発表会

PROGRAM

2008年3月17日(月) (東京会場) 日本経団連会館11階国際会議場

- 13:30 開会挨拶 石渡 恒夫 (社)日本民営鉄道協会 運輸委員長
京浜急行電鉄(株)取締役社長
- 13:35 来賓挨拶 藤田 博 国土交通省 大臣官房審議官(鉄道局担当)

モデルプロジェクトの発表

- 13:40 モデルプロジェクトの発表に当たって
三澤 明 (社)日本民営鉄道協会 理事長
- 14:00 モデルプロジェクト事業を進めてのまとめ及び提言
森 明裕 (社)日本民営鉄道協会 都市鉄道整備問題研究会委員
京浜急行電鉄(株) 鉄道本部計画営業部計画課長
太田 雅文 (社)日本民営鉄道協会 都市鉄道整備問題研究会委員
東京急行電鉄(株) 鉄道事業本部事業統括部事業推進課長
- 14:15 ①駅・緑と花いっぱい運動
京王電鉄(株)・小田急電鉄(株)・東京急行電鉄(株)
- 14:30 ②神宮前まちづくりプロジェクト
名古屋鉄道(株)
- 14:45 ③京都都市圏におけるモビリティ・マネジメントの普及に関する調査
(京都府南部地域通勤交通社会実験)
近畿日本鉄道(株)・京阪電気鉄道(株)
- 15:00 コーヒーブレイク (15分)
- 15:15 ④横浜駅・点字マップ作成による“まちのプロモーション事業”
東京急行電鉄(株)・京浜急行電鉄(株)・相模鉄道(株)
- 15:30 ⑤柳川雑祭り「さげもんめぐり」に合わせた
西鉄柳川駅周辺と柳川市中心部の連携及び活性化
西日本鉄道(株)
- 15:45 ⑥和歌山都市圏におけるモビリティ・マネジメント社会実験
南海電気鉄道(株)
- 16:00 ⑦尼崎市域における自転車問題を切り口としたまちとの連携
阪急電鉄(株)・阪神電気鉄道(株)
- 16:15 発表プロジェクトコメント
【講師】家田 仁 東京大学大学院工学系研究科教授(社会基盤学)

- 17:00 閉会挨拶 大藪 譲治 (社)日本民営鉄道協会 常務理事
- 17:10 懇親会 (会場:10階1001号室)

講演者プロフィール

家田 仁 ●東京大学大学院工学系研究科教授(社会基盤学)

1955年生まれ。1978年東京大学工学部土木工学科卒業、同年日本国有鉄道入社。東京大学工学部助教授を経て1995年より現職。途中、西ドイツ航空宇宙研究所交通研究部客員研究員、フィリピン大学交通研究センター(NCTS)客員教授に派遣。道路パフォーマンスマネジメント、「使える」高速道路プロジェクト、国際交通ネットワーク戦略プロジェクトなどに参加している。『国土の未来 アジアの時代における国土整備プラン』など著書多数。



モデルプロジェクト概略

(社)日本民営鉄道協会では鉄道とまちづくりの今後のあるべき姿についてかねてより議論を重ねてきました。2006年に提言「鉄道とまちづくりの連携」を発表し、2年間にわたって具現化してきたプロジェクトを発表します。

神宮前まちづくりプロジェクト



名古屋鉄道

神宮前駅のターミナル機能を核として、連続性・回遊性が高まる沿線価値向上施策を実施することにより、歴史的、文化的に貴重な熱田神宮と融合したまちづくりの推進を図る。



発表者 高崎 裕樹
名古屋鉄道(株)
経営企画部企画担当課長

横浜駅・点字マップ作成による“まちのプロモーション事業”



東京急行電鉄
京浜急行電鉄
相模鉄道

現在、横浜市が作成している駅の案内図を基にして乗換案内を中心に視覚障がい者にもわかるような点字を用いた地図(リアフリーマップ)を作成する。マップの試作品完成後に、地元の障がい者を中心とした様々な方々とともにマップに記載されている乗換ルートを歩く等の現地確認を行い、意見交換を行う。



発表者 小川 昌夫
相模鉄道(株)
鉄道カンパニー事業統括部
事業統括課長

和歌山都市圏におけるモビリティ・マネジメント社会実験



南海電気鉄道

南海本線および加太線沿線でモビリティ・マネジメントの一手法であるTFP(トラベル・フィードバック・プログラム)の社会実験を実施し、和歌山都市圏におけるクルマ利用の抑制と公共交通利用の促進効果を検証する。



発表者 吉田 一夫
南海電気鉄道(株)
鉄道営業本部
統括部課長

駅・緑と花いっぱい運動



京王電鉄
小田急電鉄
東京急行電鉄

駅周辺にフラワーポットを設置し、植栽を維持管理して駅周辺の美化・緑化を継続的に推進することを通して、地域・自治体・鉄道事業者間の連携モデルを形成し、相互の信頼関係の構築や人的ネットワークの拡大をはかるとともに、“まち”における駅の存在意義を高める一助とする。



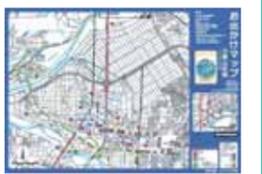
発表者 番 睦
京王電鉄(株)
鉄道事業本部
計画管理部計画担当課長

京都都市圏におけるモビリティ・マネジメントの普及に関する調査(京都府南部地域通勤交通社会実験)



近畿日本鉄道
京阪電気鉄道

京都府南部地域公共交通活性化協議会を実施主体に公共交通利用促進に資する「お出かけマップ」を作成・配布し、モビリティ・マネジメントの一手法であるTFP(トラベル・フィードバック・プログラム)を実施することで、対象居住者の交通行動の変容を働きかけると共に、その効果を検証する。



発表者 前田 勝
京阪電気鉄道(株)
鉄道企画部課長

柳川雑祭り「さげもんめぐり」に合わせた西鉄柳川駅周辺と柳川市中心部の連携及び活性化



西日本鉄道

「さげもんめぐり」に合わせて、観光PRや市内周遊観光の仕掛け作りを、地域、自治体、事業者で共同して実施することにより、駅とまちの連携を強化し、駅から始まる観光を活性化することで、観光地の魅力向上を図る。



発表者 湯地 雅夫
西日本鉄道(株)
鉄道事業本部計画部
営業開発課長

尼崎市域における自転車問題を切り口としたまちとの連携



阪急電鉄
阪神電気鉄道

環境にやさしいまちづくりを進めることを目的として、尼崎市域を対象に、鉄道事業者(阪急・阪神)、行政(尼崎市)、地域の関係者(住民等)が連携し、違法駐輪に対する啓発活動や、シンポジウムによる情報発信を行った。



発表者 樋口 賢
阪急電鉄(株)
都市交通事業本部
都市交通計画部調査役